

第139期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第メ切ります)

講義時間は、午後7時～9時10分(休憩も含まます)

総合コースは、18回講義のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回講義のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

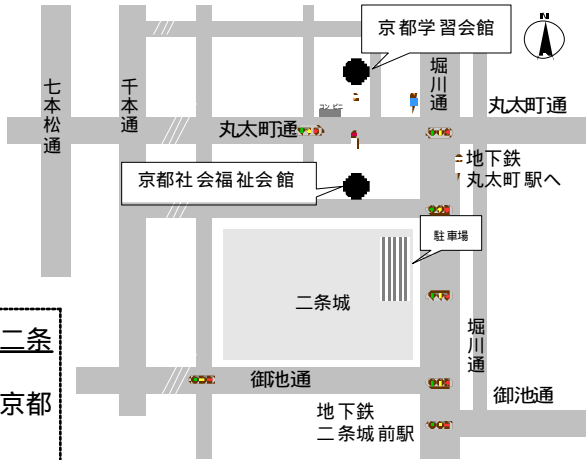
テキストは、総合コースはレジュメを準備しております。世界観コースは、マルクス・エンゲルス著『ドイツイデオロギー』(新日本出版社)、経済学コースは、マルクス著『資本論』第1～2分冊(新日本新書)を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

受講料は、総合コースは、10,000円、それ以外は、8,400円です。

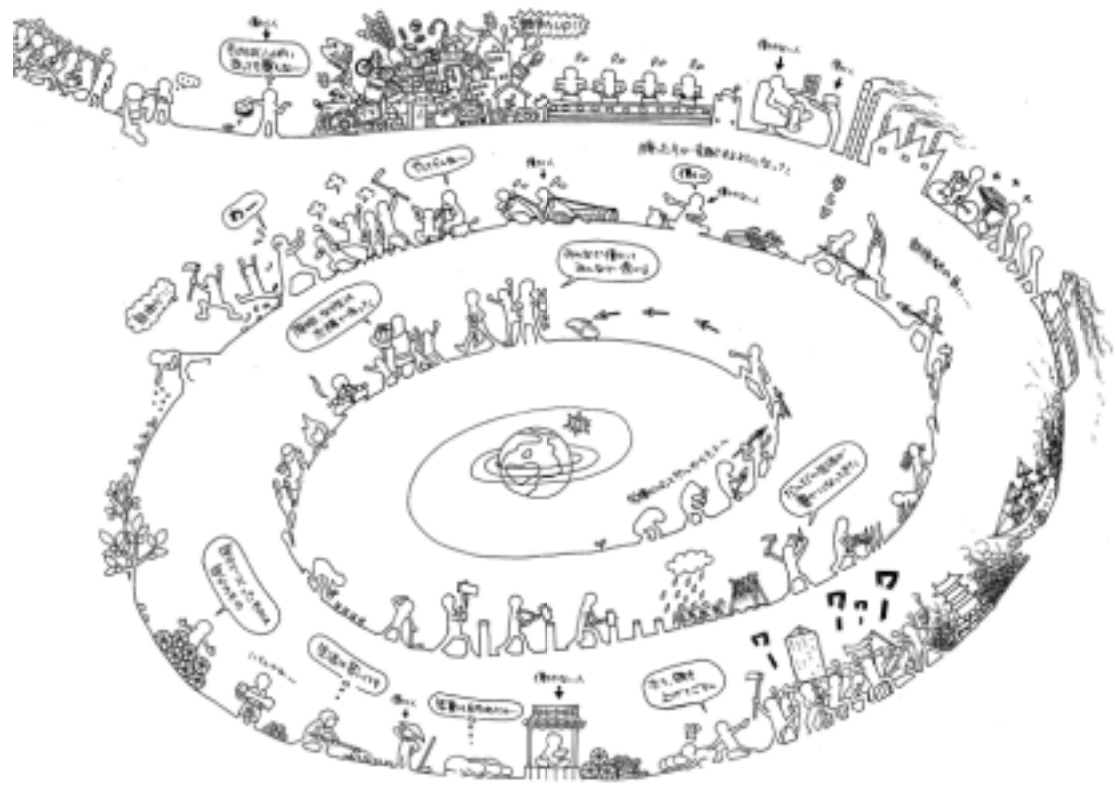
金額に消費税が含まれています。

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141
FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。
地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。



2011年夏 あなたの“未来観”
“社会観”が問われている

科学的社会主義を
労働学校で学ぼう

第139期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みコースチェック 総合 世界観 経済学			
ふりがな	性別	年齢	
氏名:	男・女	才	
現住所			
職場・学園			
労働組合 (全国単産)			
電話: 職場 () - 自宅 () -			

『ドイツ・イデオロギー』... 注文する。 『資本論』... 第1分冊 第2分冊 注文する。

科学的社会主義を学ぶ労働者の学校
京都中央労働学校 139期生募集中
申込先は
京都労働者学習協議会
電話 841-8141 FAX 821-3665

総合コース

京都中央労働学校の本コースです。
科学的社会主義の理論を総合的に学び、私たちの現実と未来を切り開く力を養います。

6/25	(土)	開校オリエンテーション
6/28	(火)	第01課 マルクスは何を発見し変革したか
7/01	(金)	第02課 資本主義はどんな特徴をもっているのか
7/05	(火)	第03課 “搾取” そのしくみと強める方法
7/08	(金)	第04課 「訓練され、結合され、組織され」る労働者
7/12	(火)	第05課 資本主義の“推進力”とその“矛盾”
7/15	(金)	第06課 私たちと戦後日本の歴史
7/19	(火)	第07課 *知のESSCENCE 人間らしさと働く
7/22	(金)	第08課 わたしたちの“アジア観・中国観”とは
7/26	(火)	第09課 *知のESSCENCE 人間の知性と自由
7/29	(金)	第10課 日本社会の特徴を考える
8/02	(火)	第11課 *知のESSCENCE ものの見方・考え方のエッセンス
8/05	(金)	第12課 職場と生活を変える労働組合のはなし
8/09	(火)	第13課 政治を変える統一戦線のはなし
8/12	(金)	第14課 わたしたちにとって“労働法”とは
8/19	(金)	第15課 *知のESSCENCE マルクスの社会観とは
8/23	(火)	第16課 「資本主義の限界」とはどのようなことか
8/26	(金)	第17課 世界中で“変革”の実践がすすんでいる
8/30	(火)	第18課 人類の未来社会 “社会主義・共産主義”とは



「労働力」という商品を買って、労働者は労働する。というのを初めて知った。そして労働をするによって産まれる新しい価値と、労働力として支払われる価値が違つたというのはどうなのかなと思つた。とても身近な所で“搾取”という事が行われているんだなと思つた。



「労働力」商品。あーマルクスが長つたらしく説明してたのはこのことだったのか!!と納得しました。労働力は商品っていう考えはとってもインパクト大でした。労働力はスーパリーにならざるリングゴ(商品)と同じ。だから、資本主義の中で、労働者が人権を叫んでも、なにかひびかないのは、リングゴが人権を叫んでると同じだからなのかな。とか思いました。リングゴが主人公として生きる。なんて変だから、この資本主義社会で労働者が主人公として生きるってとっても難しいことなのだろうと思ひます。労働力 労働者であることが、資本主義での希望なのではないか?ゴチャゴチャしててすいません。

労働は価値を産むが、その産みだされた価値は労働力の価値とは無関係である、ということに眼からウロコ状態でした。イマイチ理解しがたかつた剰余価値論がこれまで以上に明確に頭に入った気がします。

講義は……“**搾取**” そのしくみと強める方法

《かんそく》

世界観コース

第139期では、マルクス・エンゲルス著「ドイツ・イデオロギー」をテキストに科学的社会主義の世界観を学びます。同時にマルクス・エンゲルスの生き様を学ぶこととなります。

マルクス・エンゲルス著「ドイツ・イデオロギー」を読む

6/25	(土)	開校オリエンテーション
7/01	(金)	第1課 “変革” の激動期にマルクスはどのように生きたか
7/08	(金)	第2課 「現実的なものはすべて合理的であり、合理的なものこそ現実的である。」
7/15	(金)	第3課 “愛” による万人宥和の夢想
7/22	(金)	第4課 “歴史” をどのようにとらえるのか
7/29	(金)	第5課 社会の構造を唯物論の立場で見ると
8/05	(金)	第6課 人間らしく働き、生きるとはどういうことか
8/12	(金)	第7課 階級的支配はどのように作りだされるのか
8/19	(金)	第8課 “共産主義革命” の諸条件を見る
8/26	(金)	第9課 「哲学者たちは、世界をさまざまに解釈しただけである。しかし……」



労働力にでしか新たな価値を生みだせない、というのは、とてもビツクりした。労働力は新たな価値を生みだす特別な商品である、ということ、労働者全体、国民全体が理解できれば、今の社会とは違った社会になる気がしました。

安く買って高く売って、資本家はもうかると思つてたけど、そうじゃなかった。労働力は商品という事と、その価値をもうけに利用するというのに驚いた。

講義は……“**搾取**” そのしくみと強める方法

《かんそく》

経済学コース

マルクス著『資本論』を学んでゆきます。第139期は“第1部 資本の世界はどんな社会か”です。現実経済を頭に描きながら『資本論』を厳密に学びます。

『資本論』を読む!! 第1部 資本の世界はどんな社会か

6/25	(土)	開校オリエンテーション
6/27	(月)	第1課 なぜ、いま『資本論』を読むのか?
7/04	(月)	第2課 なにが商品交換を成り立たせるのか!!
7/11	(月)	第3課 商品の価値はどうやって表されるか!!
7/18	(月)	第4課 商品の世界はどんな社会か!!
7/25	(月)	第5課 貨幣はどうして生まれたか!!
8/01	(月)	第6課 貨幣はどんな役割を果たすか!!
8/08	(月)	第7課 資本とはなにか? 資本を生み出す鍵はなにか!!
8/22	(月)	第8課 人間が労働するとはどういうことか!!
8/29	(月)	第9課 資本のもけはどうやって生まれるか!!

